

KYODO PR Business Report

第60期(2023年12月期)株主通信



Top Message 株主の皆さまへ |



ご挨拶

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2024年3月27日付で、谷鉄也が取締役会長に、石栗正崇が代表取締役役にそれぞれ就任いたしました。あらためてご報告申し上げるとともに、株主の皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1964年の創業以来、当社は一貫してメディアとの関係を構築するメディアリレーションズを基盤として活動してまいりました。近年はIT技術の発展とともにデジタル化・DX化の推進を積極的にすすめております。PRと広告の業際化が進む昨今ですが、PR業界の幅広い可能性を確信し、デジタル化によって市場の融合を図り、今後も邁進してまいります。

また、創業60周年を迎える今期は中期経営計画として、価値あるコンテンツを最も多く創る『New'S design company』を当社グループの経営ビジョンとして掲げております。最終年度となる2026年には売上高100億円・営業利益16億円を目標に掲げ、新たな経営執行体制でさらなる成長と企業価値向上に努めてまいります。

取締役会長 谷 鉄也

代表取締役 石栗 正崇

第60期のご報告

昨年引き続き過去最高益を更新、3期連続増益で着地

当社グループの第60期(2023年12月期)連結業績の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度における業績については、PR事業では、当社でプロデュースした企業広告が優秀な広告を表彰するACC賞のPR部門ブロンズ賞を受賞するなど、PRと広告の業際化が深耕し、リテイナー事業を基幹として安定的な基盤構築に貢献しました。また、インフルエンサーマーケティング事業ではZ世代を中心とした所属クリエイターによるタイアップ案件が増加し、イベントやグッズ販売など収益性の高いIPビジネスが利益に大きく寄与しました。また、AI・ビッグデータソリューション事業もデータ収集事業である「ShtockData」や「CERVN」のストック型ビジネスにおいてインバウンド以外からの案件獲得が順調に進むなど、年間を通して売上、利益ともに大きく貢献しました。

これらの結果、当連結会計年度の連結売上高は6,895百万円(前期比31.0%増)、営業利益840百万円(同16.8%増)、経常利益862百万円(同17.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益487百万円(同6.3%減)となりました。

6期連続増配、来期も2円増配を予定

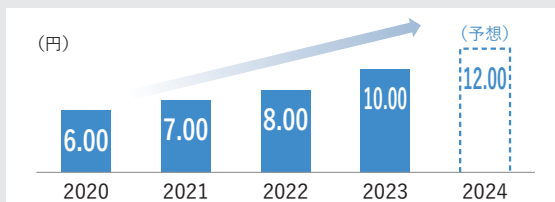
当社グループは、事業投資や経営基盤強化を目的とした内部留保等を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。第60期におきましては、1株当たり期末配当を10円00銭(連結配当性向 17.7%)とすることに決定いたしました。来期につきましても、2円増配の12円00銭を予定しております。

新体制で臨む第61期は、中期経営計画を掲げ、グループ一丸となってより一層の発展を目指してまいります。

配当施策

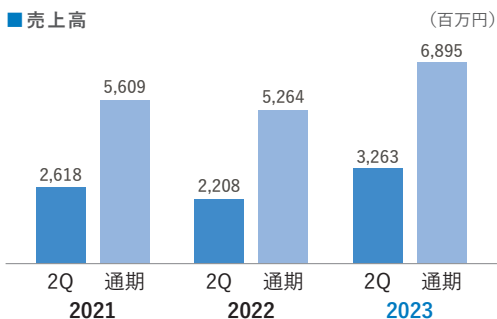
2024年度配当予想は2期連続2円増配の12.00円を予定しております。

1株当たり(予想) **12.00円**



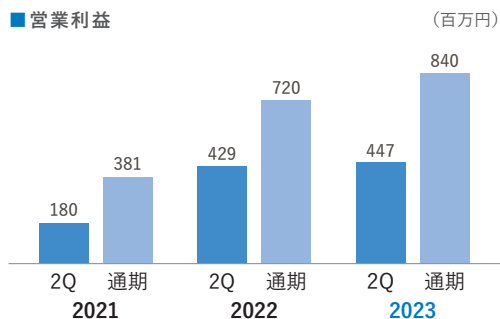
※グラフの1株当たりの配当金は2022年10月31日を基準日とした株式分割(1株→2株)を考慮した金額

連結業績ハイライト |

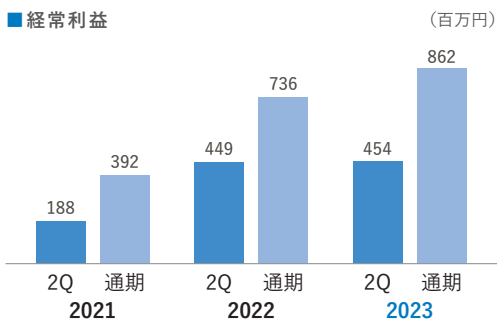


68億95百万円 前期比31.0%増

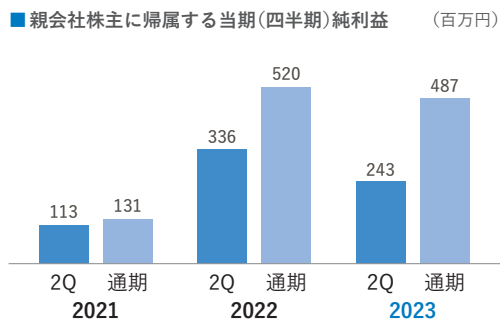
※「収益認識に関する会計基準」等を2022年12月期の期首から適用しており、売上高については当該会計基準を適用した後の数値となっております。



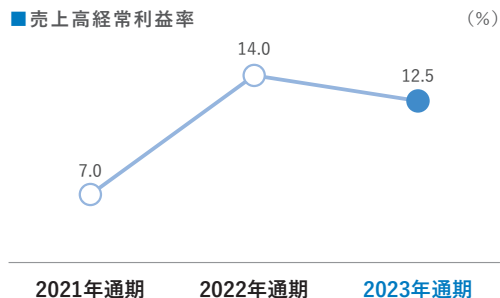
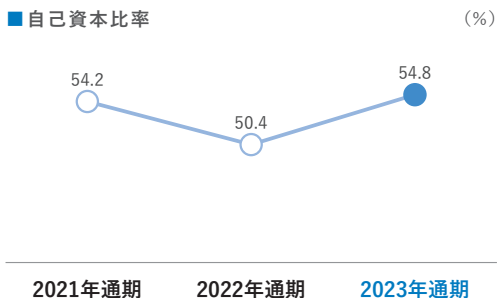
8億40百万円 前期比16.8%増



8億62百万円 前期比17.2%増



4億87百万円 前期比6.3%減

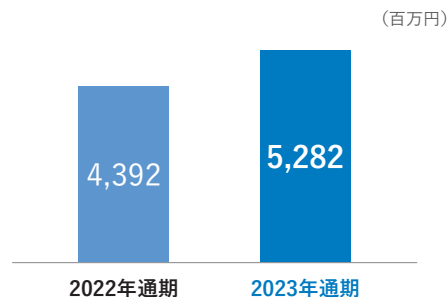


セグメント別売上高 |

PR事業

52億82百万円 (前期比20.3%増)

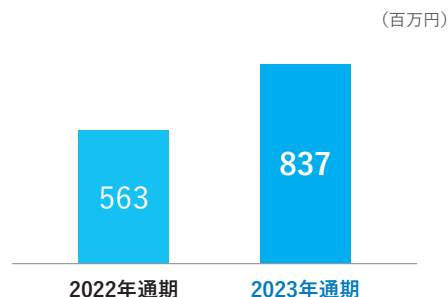
国内および海外のIT・情報通信・テクノロジー関連クライアントを中心に、他事業分野の顧客においても堅調に推移し、安定的な基盤構築に貢献しました。また、当社グループでプロデュースした企業広告が、優秀な広告を表彰するACC賞のPR部門ブロンズ賞を受賞するなど、PRと広告の業際化が深耕しました。



インフルエンサーマーケティング事業

8億37百万円 (前期比48.5%増)

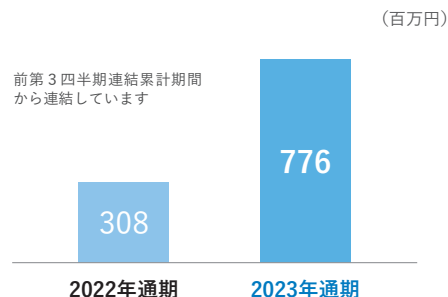
所属クリエイターのさくらやおさきなど、Z世代を中心とした自社クリエイターによるタイアップ案件の増加や、コンビニの複合機を使ったブロマイド印刷販売サービスを使って、タレントやクリエイターのチャンネルのサムネイルを販売するファミマプリントなどのIPビジネスの販路拡大も利益に大きく貢献しました。



AI・ビッグデータソリューション事業

7億76百万円 (前期比151.4%増)

データ収集事業である「Shtock Data」や「CERVN」のストック型ビジネスにおいて、インバウンド以外からのチャンネル案件の獲得が順調に進み単価の底上げができたことや、データ分析事業である「Tableau」におけるExpert認定を取得したことにより、ビジネスが拡大しました。



Topics トピックス |

日本最大級のACC広告賞の2部門でブロンズ賞を獲得

「ACC CM FESTIVAL」を前身とし、クリエイティブ業界で活躍する関係者に広く認知されている日本最大級の広告賞「2023 63rd ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」において、当社グループがプロデュース

した企業広告がブランデッド・コミュニケーション部門、および今年度から新設されたPR部門の2部門で「ACCブロンズ賞」を受賞いたしました。



共同ピーアールと新東通信の合同グループ7社による懇親会を開催

人材交流の促進と企業文化の相互理解を目的として、共同ピーアールグループと新東通信グループの7社による懇親の会「グループ7社会」を新たに発足し、8月に第1回が開催されました。初回は「時事ニュースバトル」として、アカウント本部から選抜された精鋭8名がおすすめる時事ニュースをプレゼンし、視聴する社員がリアルタイムで投票し得票数を競うという、「メディアリレーションズ」を強みとした当社ならではのプレゼンバトルとなりました。



所属インフルエンサー「さくら」がトレンドランキング1位に選出

Z世代を対象としたシンクタンク組織「Z総研」による「Z世代が選ぶ2023年下半期トレンドランキング」の「流行ったTikToker」部門で1位に選ばれた「さくら」が、人気アーティスト「Little Glee Monster」の新曲「UP TO ME!」MVに出演しました。また、「コスメヲちゃんねるサラ」のYouTube企業タイアップ案件による売り上げが1億円を突破するなど、VAZの所属インフルエンサーの活躍が目立ち、今後のマーケティング領域の拡大が見込まれます。



Dataiku社とコンサルティングパートナー契約を締結

キーウォーカーが、AIと機械学習のプラットフォーム「Dataiku」を提供するDataiku社(本社:米国NY、CEO:Florian Douetteau)とのコンサルティングパートナー契約を締結しました。クライアントのデータ活用を支援してきたキーウォーカーの知見を活かしてDataiku活用の支援をおこない、サイロ化されたシステムからの脱却やデジタル人材の確保といった顧客の課題に対応してまいります。



(左からDataiku Japan(株) カントリーマネージャー 佐藤様、(株)keywalker 小林)

株式情報 |

■大株主

(2023年12月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
(株)新東通信	2,874,792株	33.18%
(株)テクノグローバル研究所	1,105,600株	12.76%
真瀬 正義	380,000株	4.39%
谷 鉄也	324,114株	3.74%
MSIP CLIENT SECURITIES(常任代理人モルガン・スタンレーMUFG証券(株))	175,300株	2.02%
共Pグループ従業員持株会	167,400株	1.93%
山本 文彦	165,000株	1.90%
鈴木 泰弘	114,600株	1.32%
古賀 尚文	112,514株	1.30%
SMBC日興証券(株)	106,700株	1.23%

※持株比率は自己株式(131,420株)を控除して計算しております。
また、自己株式につきましては、上記の表から除外しております。

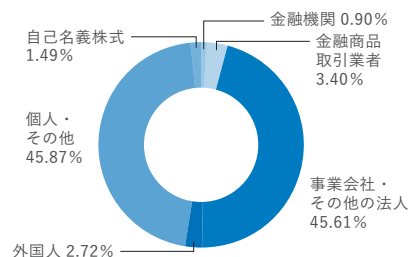
■株式の状況

(2023年12月31日現在)

発行可能株式総数	30,240,000株
発行済株式の総数	8,794,992株
株主数	2,910名

■所有者別株式分布状況

(2023年12月31日現在)



株主優待のご案内

当社では、毎年12月末日時点および翌年6月末日時点の当社株主名簿に、同一の株主番号で継続して2単元（200株）以上保有する株主様として記載または記録された株主様を対象として、株主優待を実施しております。



共同ピーアール・プレミアム優待倶楽部

優待ポイントを貯めて 2,000 種類以上の優待商品と交換！



プレミアム優待倶楽部 ヘルプデスク

電話番号 0120-302-716

受付時間 9:00~17:00(土日祝・年末年始を除く)

本年度、当社では日経IR・個人投資家フェアへの出展や、個人投資家向けの説明会を積極的に行うなど、IR活動を強化した1年となりました。

また、共同ピーアールの最新ニュースをメールでお届けするサービスを開始しました。是非、ご登録ください。

共同ピーアールの最新ニュースを
メールでお届けいたします



IRメール配信登録方法

配信をご希望の方は、下記の配信登録フォームより
登録をお願いします。

<https://www.kyodo-pr.co.jp/investor/irmail>

株主の皆さまの声を聞かせてください



当社では、株主の皆さまの声を聞かせたいため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

右記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に
表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koeikiku.jp>

アクセスキー 2436LPaz

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を
差しさせていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより
実施いたします。
アンケートのお問い合わせ コエキク事務局 | koeikiku@pronexus.co.jp

会社情報

■ 会社概要

会社名

共和ピーアール株式会社

株式

東京証券取引所スタンダード市場（証券コード 2436）

所在地

東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア10F

設立

1964年11月14日

資本金

5億47百万円(2023年12月31日現在)

社員数

連結 337名(2023年12月31日現在)

■ 取締役

(2024年3月27日現在)

取締役名誉会長 古賀 尚文

取締役会長 谷 鉄也

代表取締役 石栗 正崇

取締役 信澤 勝之

取締役 松川 和正

取締役 沼田 英之

取締役 木村 忠久

取締役 立花 圭亮

取締役(非常勤) 尼崎 勝司

社外取締役 監査等委員 高橋 千秋

社外取締役 監査等委員 安藤 教嗣

社外取締役 監査等委員 成田 孝夫

※社外取締役である高橋千秋氏、安藤教嗣氏は、株式会社東京証券取引所の規定する独立役員であります。

■ 事業領域

● PR事業

メディアリレーションズを中心とした企業などの広報活動支援、代行、コンサルティング

● インフルエンサーマーケティング事業

SNSにて大きな影響力を持つインフルエンサーによるサービス等の紹介によるマーケティング事業

● AI・ビッグデータソリューション事業

WEBクローリング技術やデータ分析技術による課題解決

■ グループ会社

共和ピー・アール株式会社

株式会社マンハッタンピープル

株式会社ULM

株式会社VAZ

株式会社KOLTECH

株式会社キーウォーカー